

(様式3)

事業所名 グループホーム桜木荘

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 12 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練について 色々な場面を想定した訓練が少ない。 年2回の訓練以外は、いざという時に備えて 個々にシミュレーションをしているが、活用できていない。	・入居者の状況に合わせた避難訓練 ・話し合いの場を設け、シミュレーションを活かした訓練の実施	○入居者のとるべき行動に合わせ、実際の状況に一番近い想定で訓練を行なう。 ○各棟で話し合いの場を設け、その中より色々な場面を想定した訓練を行なっていく。 ○救助に駆けつけて来た地域住民の役割を明確にしておく。	3ヶ月
2	35	一方(地域)から助けてもらっただけではなく、桜木荘が地域に役立つ存在になれないだろうか。	・地域の中の社会資源となる	○災害時に一時避難場所として、桜木荘を活用してもらおう。(自治会からも協力をもらい、地域住民へ呼びかけてもらう。) ○誰でも気軽に桜木荘に足を運んでもらえるよう、内容の構成や高齢の方でも分かりやすくまた、見やすい広報を発行する。	6ヶ月
3	33	看取りについて 連携体制が整っていない。 夜勤者の不安。	・看取りの指針に基づいた体制を整えていく	○講師を招き、看取りについて勉強会を行なう。 ○法人内の医師、看護師と話し合いの場を設け連携体制を整えていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。